



- 会長／林広一郎
- 副会長／小口裕司・宮坂晃介
- 幹事／北澤洋之介
- R 情報(会報)委員長／吉村栄二

- 事務所／岡谷市中央町 1-4-1 ・ Tel/0266-22-6939 ・ Fax/0266-23-6939  
URL: okayarc.org ・ Email: okayarc@bz04.plala.or.jp
- 例会／毎週火曜日 PM12:30 ホテル岡谷

## 第 2973 回例会 2022 年（令和 4 年）7 月 19 日(火)

点 鐘：林広一郎 司 会：濱 毅  
斉 唱：なし  
ラッキーNo：NO. 22 中嶋孝一  
ビジター：米山カウンセラー（塩尻RC）作田永子様

※短縮例会（会食なし）

### 会長挨拶

皆さん、こんにちは。すでに先週 15 日(金)メールでお知らせしましたように、本日の例会も先週の例会と同じように、ここの所の新型コロナウイルスの感染状況を考慮しまして、会食はせずにお弁当お持ち帰りの例会とさせていただきます。

そして、本日はお客様がお越くださっておりますので、ご紹介いたします。米山カウンセラーであり RLI 委員長でもあります、塩尻 RC の作田永子様、そして本年度(2022～2023 年度)米山奨学生 劉子渝(リュウシュ)様です。

後ほどご挨拶、ならびに卓話をお願いしておりますので、よろしく願いいたします。

さて、今月(7月)1日～7日は「全国安全週間」でした。この活動の目的は、業種・業態を問わず、すべての働く人にとって安全に働くことができる職場環境の実現ということにあります。皆さんのお会社や事業所でも労働安全について、スローガンのポスターの掲示や、朝礼時の話題にして啓蒙活動に取り組まれたことと思います。ちなみに、今年で 95 回目となる全国安全週間のスローガンは「安全は 急がず 焦らず 怠らず」でした。

私の勤め先では、部品加工、機械組立、試運転調整、据付工事などを行っております。これまで発生した労災事故(無休災害)の事例をみてみますと、機械の動いている箇所に何気なく触れてしまい、危うく手指が巻き込まれそうになってしまった。また、初めての仕事・不慣れな作業について、危険がどこに潜んでいるのか分からず、効率や結果を優先するあまり無理をしてしまい、挟まれ事故にあってしまったということがありました。

安全活動は、とかく地味で面倒くさい面があります。「安全は 1 日にしてならず」

とも言われています。しかし、いったん事故が発生しますと、一番切ないのはご本人でありご家族です。

そのようなことから、当社では「安全なくして生産なし」モットーに、日々の生産活動に取り組んでいるところです。

以上、本日は安全活動の取り組みについて、話をさせていただきました。よろしくお願ひいたします。

## 幹事報告

- ・次週7月26日は休会です。
- ・次回は8月2日の親睦花火鑑賞会の予定でしたが、中止を決定いたしました。昼例会もございません。後ほどメールでお知らせいたします。残念ではありますがご理解の程よろしくお願ひいたします。

### \* R L I 終了証授与 \*

昨年度は、コロナの影響でR L I 終了式が行えませんでした。本日は作田委員長にお越しいただいているので、昨年度R L I 参加の高木克彦会員に終了証を授与していただきました。



### \* 米山奨学生卓話 \*

紹介・・・今井康善 米山記念奨学委員長

挨拶・・・米山カウンセラー 塩尻ロータリークラブ 作田永子様



#### 卓話「留学生としての私について」

信州大学・総合人文社会科学研究所 米山奨学生 劉子渝 様

みなさん、こんにちは。本日はお忙しいところ、お時間をいただきまして誠にありがとうございます。米山奨学生、劉子渝と申します。信州大学・総合人文社会科学研究所に在学していて、現在は大学院2年生です。本日は初めての訪問活動に参加させていただき大変嬉しく思っております。それでは早速ですが、卓話の発表に移させていただきます。



本日の発表内容についてですが、4つに分けて紹介していきたいと思っております。まずは自己紹介、次は大学院での研究について、そして奨学生としての私、例えば4月から私はどのような交流活動に参加したかなど、最後に将来の目標などについて話をさせていただきます。

まずは自己紹介です。

私の出身地は、北京のすぐ隣にある天津です。中国全体で言うと天津は都市部なんですけど、あまり海外の方に知られていなさそうですね。右の写真は天津の代表的な場所の写真になります。天津は海に近く、昔から海外貿易を中心に栄えてきました。

私は天津生まれ育ちですけど、小さい頃から海外文化に興味を持ち、将来は留学に行こうという夢もあって、大学時代には英語を専攻していました。大学2年生の頃に、将来は一体どこへ留学に行けばいいんだろう、まだ明確な目標を持ってなくて、なかなかやる気を出せない日々を送っていました。この時、私は日本語を第2外国語として授業を取り始めることをきっかけで、両親と初めての日本旅行にきました。私たちは東京の羽田空港に到着し、関西方面に向かってあちこちを巡りながら1週間ほど満喫しました。一番左の写真は、空港から降りた時に撮ったものです。なぜこれを撮ったかという、空港なのに床がツヤツヤで本当に綺麗だなと私は感心したからです。また、温泉旅館に泊まった日にいただいた食事、富士山から見えたふわふわな雲、そしていつも笑顔で礼儀正しい人々、といったすべてが私の心に響いていました。そこから、私は日本の生活環境と優しさに惹かれて、故郷から出ようという決意がゆっくりと固まってきました。そして、2018年に私は大学卒業して日本の留学生生活をようやく始めました。2019年、私は神戸で1年間日本語学校に通っていた後、2020年から信州大学に進学することになりました。

次に、現在の研究内容についてです。

私は大学院では歴史学という専攻に所属しており、経済史を現在の研究方向に昔の米中貿易の仕組みについて明らかにしたいです。

アメリカには昔から中国系の人々が暮らしていて、その多くが現地社会の政治に参加しています。彼らはなぜアメリカに渡ったのかについて少し触れていこうと思います。

アメリカには華人が19世紀からやってきたのですが、彼らは、清朝側のプッシュ要因とア

## 1. 自己紹介



国谷ロータリークラブ・卓話

## 1. 自己紹介

2014年 天津理工大学入学、英語専攻

2016年 日本語を第2外国語として学び、  
両親と初めての日本旅行

国谷ロータリークラブ・卓話

## 1. 自己紹介



国谷ロータリークラブ・卓話

## 1. 自己紹介

- 2018年 大学卒業
- 2019年 神戸の日本語学校に1年間通学
- 2020年 信州大学大学院へ進学、総合人文社会科学研究科・人間文化学分野に所属
- 2022年 大学院卒業見込

国谷ロータリークラブ・卓話

## 2. 大学院での研究内容

- テーマ：広東系華人から見た19世紀の米中貿易



### 山田國のプッシュ要因

- 18世紀の人口急増
- 華南地域では食料不足と自然災害などが発生
- アヘン戦争後、上海開港
- 広州(広東省)は最大貿易港としての地位が失脚
- 広東の経済状況悪化
- 太平天国戦争により、長江流域が混乱に陥った
- アロー事件
- 英軍に広州が包囲された

(写真：https://openimage.com/@AFWR10005)

国谷ロータリークラブ・卓話

メカ側のプル要因があって、移住したものだと考えています。19世紀なかばの中国では、経済的にも政治的にも困難な状況にありました。具体的に言うと、18世紀から人口は急速に増えていて、特に華南地域では食料不足などの問題はよく発生しました。加えて、アヘン戦争後も、上海が開港されることになって、広州は唯一の貿易港としての地位が失われました。また、太平天国戦争で長江地域が非常に混乱な状態にあって、広東省の経済状況も急速に悪化しました。その最中、アロー事件で広州がイギリス軍に侵略されました。この状況から抜け出そうとした広東人が、ゴールドラッシュを機に、北アメリカへの移動を始めます。1848年のゴールドラッシュの時期から1854年までは、アメリカに移動した華人は4万人がおり、それが最初のブームとなりました。アメリカ側では西部開発で安価な単純労働力が必要とされていたので、1868年に清朝と「バーリングゲーム条約」を締結し、自由意志によるアメリカへの渡航を認めさせました。それでたくさんの低賃金労働者が、カルフォルニアのサンフランシスコにやってきます。

この研究の重要性はどこにあるかという点、こちらの写真をご覧いただければすぐに分かると思います。昔、世界中で貿易を行っている国が大西洋ルートで繋がっていますが、19世紀半ばに米中貿易が盛んになることで、アメリカ西海岸と香港の連結を行える太平洋横断航路が開設されることになりました。それは、黒船来航、つまりペリー事件と日本開国のきっかけともなったのです。

つまり19世紀の米中貿易により、太平洋側にある中国、香港、日本、アメリカが新しい貿易ルートで繋がってくるということです。

この貿易ルートで行われている事業としては、中国人移民者の移送、アヘンも含めた商品の輸出入事業、または商人たちの送金や為替取引事業などが挙げられます。これが私現在の研究テーマとなっております。

次は、研究の話から少し離れて進んでいきます。奨学生としての私とのところからです。

今年の4月17日のオリエンテーションから米山奨学生の一員になって、大変光栄に思います。そこから、ロータリー精神を込めてもっと有意義な国際交流活動に参加するようにしています。こちらの写真をご覧いただければと思います。これは、先月の19日に行った「こいこい松本」という国際交流の祭りに参加させていただいた時の写真でした。

その場で、ブースに分けて、参加者の皆さんは自国の文化、遊び、音楽、言葉などを日本人に紹介したり会話したりするといった形でやらせていただきました。参加者たちは、イタリア、アメリカ、ベトナム、アルゼンチン、ノルウェー、モンゴルなど、合計14カ国(じゅうよんかこく)から来ました。私は参加者と言っても、その機会でも様々な文化に出会えたり

2. 大学院での研究内容

➤ テーマ：広東系華人から見た19世紀の米中貿易



アメリカ開拓の背景

- 1848年、カルフォルニアのゴールドラッシュ
- 大塚橋所鉄道建設+西部開拓
- ⇒ 労働力需要
- ⇒ 1868年、中国と「バーリングゲーム条約」を締結
- ⇒ 出稼ぎ労働者(華工)が香港を出発し、カルフォルニアのサンフランシスコに押し寄せた

※華工：「工」は中国語では労働者を指す。

写真：https://www.amazon.com/SAFWER0005

岡谷ロータリークラブ・卓話

2. 大学院での研究内容

➤ テーマ：広東系華人から見た19世紀の米中貿易



※1867年11月1日、アメリカからアジアに向けて発した一乗船「コロラド」により、太平洋航路が開通された。

岡谷ロータリークラブ・卓話

2. 大学院での研究内容

➤ テーマ：広東系華人から見た19世紀の米中貿易

貿易ルート：中国⇄香港⇄日本⇄北米

- ①「ヒト」→香港経由で北米(西海岸)に渡る華人移民者
- ②「モノ」→米中間の商品貿易
- ③「カネ」→送金ネットワーク、仲介業者としての銀行

岡谷ロータリークラブ・卓話

3. 奨学生としての私



2022.06.19 「こいこい松本」交流活動

2022.04.17 オリエンテーション

岡谷ロータリークラブ・卓話

幅広い人々と交流できたりしたので、とても楽しかったです。

少し残念ですが、今の時期だとコロナがなかなか治まらない状態のままで、開催中止になったイベントも増えているそうです。ですが、これからは学生として最後の一年のうちに、できるだけ多いイベントや交流活動に参加しながら楽しんで過ごそうとしています。

そして、最後となるのは将来の目標です。

今年の3月から大変な就職活動に入りました。幸い、6月初め頃に第一志望の会社、「日本電産サンキョー」から内々定をいただきました。来年の4月から入社する予定で、将来は社会人として自分の能力を企業に貢献していくことが短期目標の一つです。

私は目標を定めて、それに向けて挑戦していくことが好きですので、それとともに長期目標もあります。私は入社して、仕事経験を積み重ねる中で、英語を流暢に話し出せることを目指します。そして、何年間仕事することで日本国籍取得し、個人経営者になることが将来の夢になります。

今は学生として学ぶべきことが多いですし、まだまだ長い道だと思いますが、一つ一つの夢を叶えるように頑張っていきたいと思います！

以上で、発表は終了です。ご清聴いただき、ありがとうございました。

### 3. 将来の目標

- 2022年4月 日本電産サンキョーに入社予定
- 短期目標：社会人として企業に貢献していきたい
- 仕事経験を積み重ねる中での長期目標
  - ①日本国籍取得
  - ②英会話習得
  - ③骨董品販売事業の経営者になりたい

岡谷ロータリークラブ・卓話



## ニコニコボックス

米山カウンセラー作田永子様 本日は劉子渝さんが、お世話になります。

上條英雄 創立月になりました。これからもよろしく願いいたします。

今井康善・牛山幸一・梅垣和彦・江黒寛文・大滝祐吉・小口 功・小口国之・小口 隆・小口智之・小口泰史・小口裕司・尾関秀雄・北澤洋之介・小林大介・小宮山英利・佐伯克己・薩摩 建・瀬戸雅三・高木克彦・竹村一幸・中嶋孝一・西澤 賢・濱 毅・林広一郎・林 尚孝・林 裕彦・宮坂晃介・宮坂 伸・守屋麻里・矢島 貴・矢島 実・矢島雄一・山岡俊幸・山岸邦太郎・山崎典夫 米山奨学生 劉子渝(リュウシュ)様、米山カウンセラー 作田永子様、本日はよろしく願いいたします。

## 出席報告

会員数50名、出席者38名、出席率76.0%

2022-2023年度 RIテーマ

Rotary



IMAGINE  
ROTARY



IMAGINE  
ROTARY